

決算の特徴

令和元年度における歳入歳出差引額は9.3億円の黒字となりました。

歳入は、市税が1.7億円、国・県支出金が6.5億円、地方交付税が2.6億円増加したことなどにより、歳入規模は前年度と比べ10.4億円増の277.6億円となりました。

歳出は、教育費で2億円の減があったものの、生活保護費や保育所等施設整備費補助金の増加などによる民生費の増、退職手当や選挙関係経費の増加による総務費の増が減少要因を上回り、歳出規模は前年度と比べ12.3億円増の268.3億円となりました。

令和元年度に取り組んだ主な事業

★ 民生費

〈前年度比6億7,197万円(6.5%)の増加〉

- 障害者自立支援給付事業 14億5,746万円
- 子ども医療費支給事業 2億5,045万円
- 放課後児童対策事業 2億1,947万円
- 保育事業 17億6,212万円
- 児童手当等支給事業 14億8,861万円
- 生活保護事業 16億4,318万円

★ 土木費

〈前年度比1,735万円(0.6%)の減少〉

- JR行田駅前広場再整備事業 1億3,754万円
- 橋りょう新設改良事業 8,776万円
- 出水対策事業 2億1,949万円
- 水城公園東側園地再整備事業 6,695万円

★ 衛生費

〈前年度比1,289万円(0.9%)の減少〉

- 救急医療体制等整備事業 3,213万円
- 健康づくり推進事業 162万円
- 感染症予防事業 1億7,505万円
- 斎場整備事業 1,976万円
- 環境衛生事業 7億2,723万円

★ 総務費

〈前年度比6億4,551万円(24.5%)の増加〉

- JR行田駅前自転車駐車場整備事業 2,068万円
- 子育て世帯定住促進事業 5,025万円
- 移住・定住プロジェクト 733万円
- 循環バス運行事業 1億242万円
- デマンドタクシー事業 2,355万円

★ 教育費

〈前年度比1億9,726万円(6.3%)の減少〉

- 小学校屋内運動場非構造部材耐震改修事業 1億5,025万円
- いじめ対策事業 1,295万円
- 教育文化センター・総合体育館非構造部材耐震改修事業 8,489万円
- 富士見公園野球場防球ネット設置事業 4,070万円
- 市制施行70周年記念 NHK夏期巡回ラジオ体操
・はつらつママさんバレーボール 228万円

★ その他

- 田んぼアート米づくり体験事業 1,588万円
- 農道及び農業用排水路整備事業 7,987万円
- 企業立地促進事業 2億1,376万円
- 中小企業振興事業 1,371万円
- 産業団地整備事業 2,587万円
- 行田版DMOを核とした持続可能な地域形成プロジェクト 5,476万円
※ 観光協会を民営化し、地域資源を生かした観光コンテンツの開発などによる観光地域づくりを目指す取り組み
- 低所得者・子育て世帯プレミアム付商品券事業 4,800万円



放課後児童対策事業 (西第二児童保育室新設)



水城公園東側園地再整備事業



市制施行70周年記念はつらつママさんバレーボール



田んぼアート米づくり体験事業

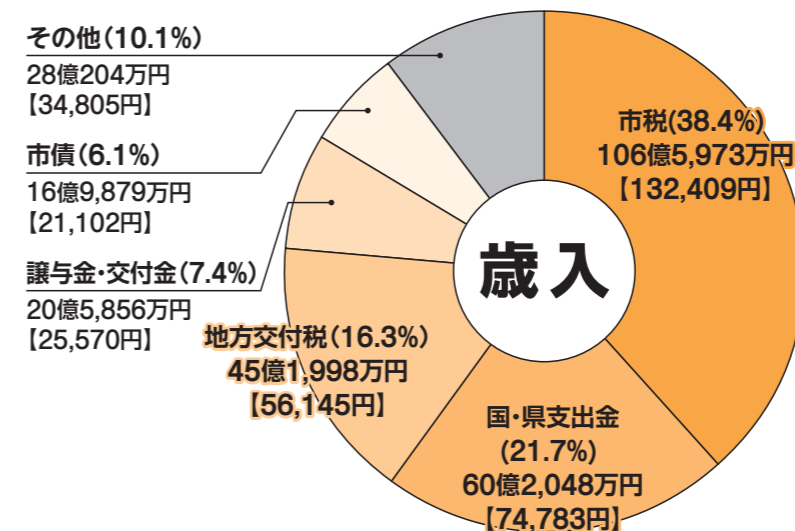
行田市の決算概要をお知らせします

令和元年度 決算報告

令和元年度の決算がまとまりました。決算は、自治体の予算執行や財政運営を明らかにするものです。市民の皆さんからいただいた大切な税金や国・県支出金などの収入がどのくらいあって、どのように使われたのかをお知らせします。

一般会計

歳入総額 277億5,958万円【344,814円】 前年度比10億4,199万円(3.9%)の増

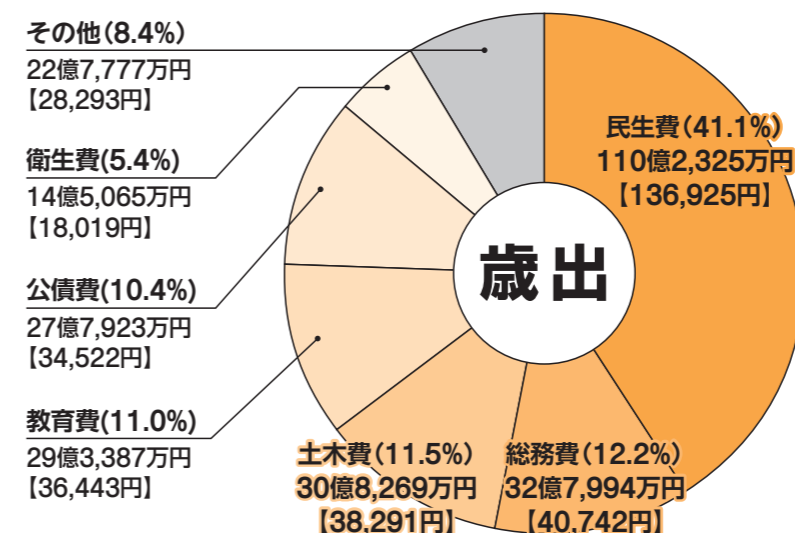


市税
固定資産税や法人市民税の増などにより、前年度比1億7,360万円の増となりました。

国・県支出金
幼児教育・保育の無償化に伴う国・県負担金の増や、選挙費委託金の増などにより、前年度比6億4,818万円の増となりました。

地方交付税
普通交付税の増などにより、前年度比2億5,587万円の増となりました。

歳出総額 268億2,740万円【333,235円】 前年度比12億2,538万円(4.8%)の増



民生費
幼児教育・保育の無償化や生活保護費の増加の影響により、前年度比6億7,197万円の増となりました。

総務費
退職手当や選挙関連経費の増などにより、前年度比6億4,551万円の増となりました。

教育費
小中学校非構造部材耐震改修事業費の減などにより、前年度比1億9,726万円の減となりました。

※グラフの【 】の数値は、市民1人当たりの額です。
歳入から歳出を引いた9億3,218万円は令和2年度に繰り越しました。